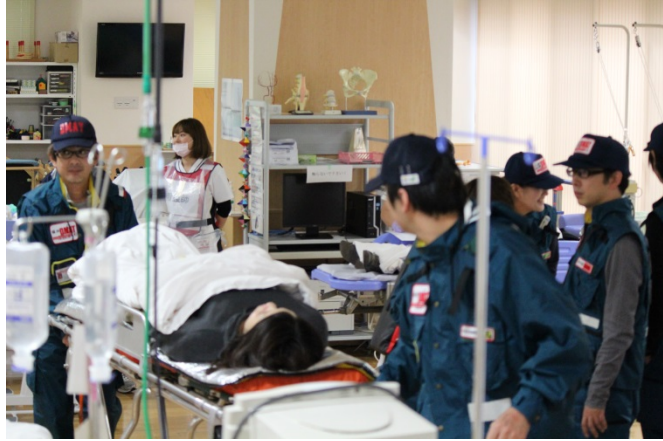


大規模災害訓練を行いました

11月8日、福井県内が震源の想定で、中部ブロックDMAT訓練が行われました。福井県内でのブロック訓練は県内初であり、当院も病院訓練を同時に行いました。

地震後、多くの患者さんが来院されると想定し、トリアージエリア、赤・黄・緑・黒のエリアを立ち上げ、実働訓練を行いました。また、県外からも6隊のDMATが集まり、傷病者を敦賀病院へ搬送する訓練が行われました。



病院内は本部を立ち上げ、各部署からの情報を整理したり、指示したりと実際さながらの訓練が行われました。栄養部は実際に200食の炊き出しを行い、医療技術部は TENT を張ったりと各役割の実践と確認が行われました。

看護部はトリアージエリア、各エリアの傷病者のケアや診療の補助を実際に行い、患者の生活と治療の場である病棟の安全を確保するために、どのような行動をすべきかを話し合ったり、実際に患者説明をしたりと訓練を行いました。

災害では全国のDMATの連携と支援活動が大きな力となります。日頃からの連携と訓練を行う事で、組織的に活動が出来ます。訓練後、訓練参加職員から率直な意見が集められ、さらに災害対策マニュアルは検討されることとなります。 文責：山本 恵子

